

\*\*\*\*\*

開講科目名：税務会計特殊研究 (4単位)

開設年次：1年 2年 3年 4年

開設学部：法学研究科修士課程法学専攻

担当者：成道 秀雄

\*\*\*\*\*

## 《授業の概要》

### [授業の概要]

企業の課税所得は会社法における確定した決算利益を基礎にして計算される。これを会社法依存主義という。それゆえ、企業会計及び会社法会計の基礎的な知識が不可欠といえる。そして、企業利益と課税所得の差異が如何なる理由で生じるかについて、すなわち、企業会計と法人税法の考え方の違いを十分に理解してもらうことが本授業の目的である。

### [授業の内容]

- 1 税務会計の基本原則
- 2 税務会計と企業会計の差異
- 3 課税所得の計算構造
- 4 各論 益金の額の計算(3回)
- 5 各論 損金の額の計算(7回)
- 6 資本、負債の部(2回)
- 7 同族会社に対する課税
- 8 非営利法人に対する課税
- 9 国際課税
- 10 組織再編税制(2回)
- 11 連結納税制度(2回)
- 12 租税特別措置法
- 13 税効果会計

## 2. 評価方法

評価は出席と試験の結果による。

## 《テキスト》

成道秀雄編『法人税の損金不算入規定』中央経済社

## 《参考書》

なし